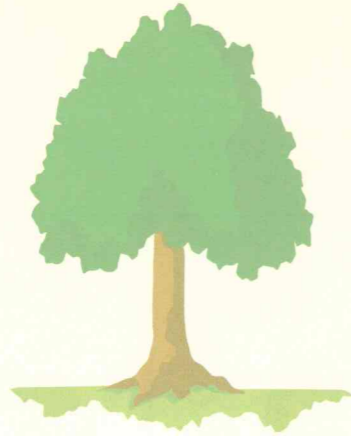


高次脳機能障害の特徴

- 脳が損傷されたことにより、心身ともに疲れやすい。
- 症状や回復の程度は一人ひとり異なる。
- 退院後など、日常生活に戻ってから症状に気づくことがある。
- 本人が症状に気づかないことがある。
- 複数の症状が起こることがある。
- 症状以外は普通である。
- 半年～年単位で改善する。
1年～3年～5年～10年の経過を見ながら判断する。
(その間、自分の能力の少し上のレベルに向けて努力すると脳血流が増えて改善する。)



【どんな原因があるの・・・?】

- のうそっちゅう のうけっかんしょうがい
◎ **脳卒中 (脳血管障害)**
脳出血、脳梗塞、くも膜下出血など。
- のうがいしょう とうぶがいしょう
◎ **脳外傷 (頭部外傷)**
交通事故や転落、転倒などで頭部に衝撃を受けて脳が傷つく。
- ていさん そ のうしょう
◎ **低酸素脳症**
心肺停止により、脳に必要な酸素が不足することで起こる。
- ほか
◎ **その他**
脳炎・脳腫瘍、一酸化炭素中毒が原因で起こる。

高次脳機能障害者への支援

医療費の助成が受けられたり、家にヘルパーがきてくれたり、仲間につながる活動場所に通えたりするなどのサービスがあります。
「こんなことに困っている・・・」「どんなサービスが使えるのかな？」
というようなご相談は、現在かかっている医療機関の相談窓口や、下記の窓口までお尋ねください。

国分寺市福祉部障害福祉課

TEL 042-325-0111(代表)
住所/戸倉1-6-1

国分寺市福祉部高齢福祉課

TEL 042-321-1301
住所/泉町2-3-8(いずみプラザ内)

地域活動支援センター つばさ

TEL 042-321-1136
住所/泉町2-3-8(国分寺市障害者センター内)

地域生活支援センター プラッツ

TEL 042-359-2440
住所/南町3-4-4

地域活動支援センター 虹

TEL 042-324-7475
住所/戸倉4-14(福祉センター内)

監修：長谷川 幹
(三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長)

パンフレットの問い合わせ先：
地域活動支援センター つばさ
TEL. 042-321-1136

こうじのうきのしょうがい 高次脳機能障害

《高次脳機能障害とは》

脳卒中などの病気や、交通事故や頭部のケガなどで、脳が部分的に損傷を受けたため、記憶や言語、注意、遂行などの機能に障害が生じた状態を言います。

脳が損傷を受けた場所によって、障害の生じる状態は違います。損傷を受けていない脳の部分は通常に働きます。

◎ 脳卒中や交通事故にあい、体が動くようになったので無事に退院。

けど

- ◎ 新しいことを覚えられなかったり
- ◎ 思うように話せなかったり……
- ◎ 今までできていたことができなくなってしまった。

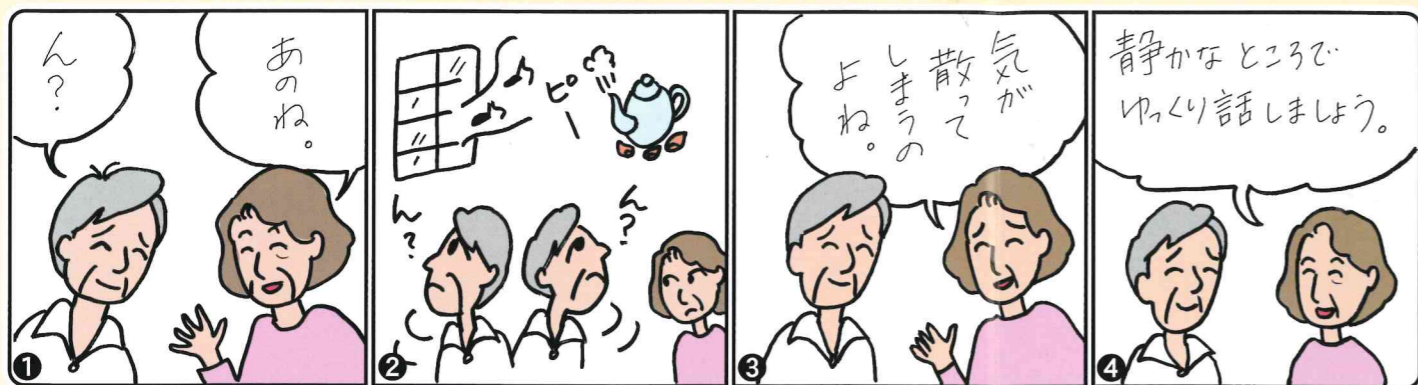
● **ひとりで悩まずに、
まずはご相談ください。**



国分寺市

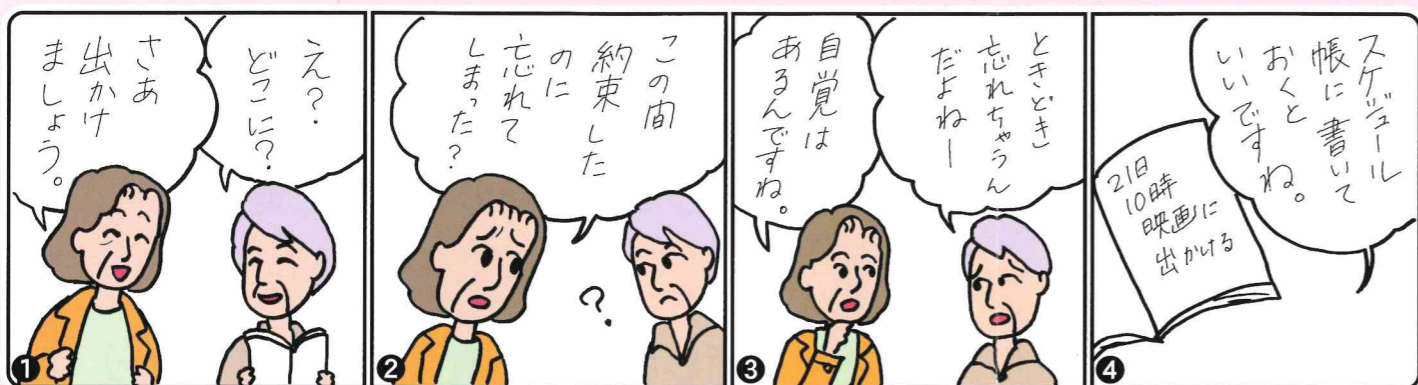
国分寺市委託事業
高次脳機能障害者支援促進事業

ちゅういしょうがい
【注意障害】 集中することが難しくなったり、注意する方向の切り替えが難しくなったりすることがある。周囲のことに気が散ったり、作業に集中できなくなったりすることがある。



(症 例) ●周囲のことに気が散る。●作業に集中できない。
 (対応例) ●落ち着いた環境で作業を行う。●作業はひとつずつ行う。

きおくしょうがい
【記憶障害】 新しいことを覚えたり、少し前の出来事や予定を忘れてしまうことがある。自分が忘れたということに気がつかないことがある。自分が忘れるということに気がつく、何度も同じことを聞き返してしまうことがある。



(症 例) ●少し前の出来事や予定を忘れる。●何度も同じことを繰り返して聞き返す。
 (対応例) ●(本人が記憶障害で困っている場合は)スケジュール帳などを付けて、過去の出来事や今後の予定を確認する。

こうどう かんじょう しょうがい
【行動と感情の障害】 (欲求や感情が抑えられない場合) 感情・意欲・行動をコントロールすることができなくなることもある。



(症 例) ●判断自体はできるが、それを踏まえて周囲の状況に合わせた対応ができないことがある。
 (対応例) ●感情のコントロールが難しそうな時、話題や場所を変えて本人が落ち着くのを待つ。

こうどう かんじょう しょうがい
【行動と感情の障害】 (意欲が湧かない場合：自発性の低下)

感情・意欲・言葉が表に出ないことがある。
 (症 例) ●自分から行動を起こそうとしない。
 (対応例) ●今できること、興味を持ちそうなことから始める。

しっこうしょう
【失行症】

使い慣れた道具がうまく使えなくなることがある。
 (症 例) ●良く使う道具(歯ブラシ、はさみなど)がうまく使えない。(使い方が分からない。)
 (対応例) ●できないところは手伝い、本人ができるように繰り返し練習する。

すいこうきのうしょうがい
【遂行機能障害】 物事や行動を計画したり、順序立てて行うことができなくなったりすることがある。



(症 例) ●手順をひとつひとつ言われないとできない。●状況に応じた優先順位がつけられない。
 (対応例) ●事前に物事の手順を書き出してから行う。

しつごしょう
【失語症】 判断力や思考力は変わらないのに、会話の内容が理解できにくくなり言葉が出にくくなることもある。
 <右片麻痺の人が多い>



(症 例) ●話の内容が理解できにくい。●頭で考えている言葉と違う言葉が出てしまうことがある。
 (対応例) ●話しているときは急がせずに待つ。●「はい」、「いいえ」で短く答えられる質問をする。

ひだりはんそくくわんむし
【左半側空間無視】 視力には問題はないのに、目にしていない空間の左半分に気がつきにくくなることもある。
 <左片麻痺の人が多い>



(症 例) ●左側の物に気がつかずにぶつかる。●食事の左半分を食べ残す。
 (対応例) ●無視のない右側から声をかける。●食事などは気づきやすい体の右側に置く。

はんそくしんたいしつにんしょう
【半側身体失認症】

身体の片側(麻痺側)が、気がつきにくくなってしまふことがある。
 (症 例) ●麻痺している手足を自分の体だとして気に掛けないことがある。
 (対応例) ●根気強く麻痺している手足を、本人に確認してもらう。

ちしてきしょうがい
【地誌的障害】

場所が分からなくなるなどのことがある。
 (症 例) ●良く知っている場所や道で、迷子になってしまうことがある。
 (対応例) ●本人が行動できる範囲を家族等が知っておく。●連絡先やGPS付き携帯電話を持ってもらう。

…
主な症状と対応
 …

